

トモエガモ

Anas formosa Georgi

カモ目
ANSERIFORMES

カモ科
Anatidae

カテゴリー

大分県 II

環境庁 II

選定理由 開発により、自然度の高い湖沼が減少し、越冬環境が悪化しているため、個体数が減少している。大分県に飛来する個体数は少ない。

県内分布 河川、湖沼、ため池などに飛来する冬鳥。

分布域 本州中西部、四国、九州の湖沼、河川、干潟に冬鳥。
シベリアで繁殖。中国南部で越冬。

生息環境 河川で昼間は休息し、夕方になると、水田や河川に飛んでいき、イネ科植物などを食べる。周辺に木立がある自然度の高い湖沼を好む。

現状 年に数か所、数羽程度（最大80羽）飛来する。

備考 ワシントン条約附属書II，国際自然保護連合：危急種。

アカハジロ

Aythya baeri (Radde)

カモ目
ANSERIFORMES

カモ科
Anatidae

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 情報不足

選定理由 種の総個体数が減少しており、全国的にも毎年数個体しか飛来しない。県内にもわずかな記録しかない。

県内分布 県北の池や河川に希に飛来する冬鳥。

分布域 全国に希に飛来する冬鳥。
ウスリー、中国東北部で繁殖。中国南部以南で越冬。

生息環境 湖沼、河川に生息する。水面採餌、潜水採餌の両方で、水草やその根、イネ科植物の種子などを食べる。

現状 県内では、数年に1度単独で飛来し、県北の池や河川を移動しながら越冬する。

備考 国際自然保護連合：危急種

コウライアイサ

Mergus squamatus Gould

カモ目
ANSERIFORMES

カモ科
Anatidae

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 情報不足

選定理由 総個体数が極めて少なく、日本への飛来も極めて希である。県内での観察記録は1回だけである。

県内分布 大きな河川や湖沼に極めて希に飛来する冬鳥。

分布域 本州中部以西に極めて希に飛来する冬鳥。
アムール地方から中国東北部に繁殖し、朝鮮半島、中国中南部で越冬。

生息環境 河川、湖沼などで潜水して魚をとる。

現状 本種の総個体数は2,000~4,000羽と極めて少ない。日本では、1986年に始めて記録され、その後毎年1~3羽が観察されている。県内では北川ダムで1回の観察記録があるのみ。

備考 国際希少野生動植物種，国際自然保護連合：危急種。